

全社協

Action Report

静岡県東部豪雨災害
第1報

2021（令和3）年7月6日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
Japan National Council of Social Welfare
（全社協 ぜんしゃきょう）

総務部広報室 z-koho@shakyo.or.jp
TEL03-3581-4657 FAX03-3581-7854
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル

※ 令和3年7月1日からの大雨による災害に係る福祉
支援活動等の情報をお送りします。

静岡県熱海市に災害救助法適用

梅雨前線の影響により、7月1日から近畿地方から東海・関東地方にかけて大雨となり、各地で人的被害や家屋等への被害が発生しています。

被害は、千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、滋賀県の5県に及び、人的被害8名（死者4名、負傷者4名）、住宅被害227棟（全壊2棟、一部破損5棟、床上浸水33棟、床下浸水187棟）が報告されています（7月6日7時現在 消防庁、静岡県熱海市の被害状況は引き続き調査中）。

この大雨により、静岡県熱海市では大規模な土石流が発生し安否不明者の捜索や確認が行われているほか、神奈川県逗子市では自動車専用道路の土砂崩れにより車両が巻き込まれ、負傷者1名が発生しました。

このうち、静岡県熱海市では、6日6時の時点で20,957世帯・35,602名に土砂災害警戒レベル5「緊急安全確保」が続いており、市内の複数か所に設置のあった避難所を中心部のホテルに集約、約500名が避難しているとの情報があります。

○福祉施設・事業所の被害状況

福祉施設・事業所での人的被害は現在までに報告されていませんが、とくに静岡県熱海市において、グループホーム（1か所）の居室に土砂が流入したことにより入所者が近隣の特養に避難したほか、複数の施設・事業所における停電、断水、浸水等の被害、さらには職員が帰宅・出勤できないことによる連続勤務といった報告がよせられています。

○静岡県社協の取り組み

静岡県社協では、7月4日に熱海市・沼津市・富士市に職員を派遣し、現地の社協職員と被害状況の確認と災害ボランティアセンター設置に向けた協議を行いました。

また、5日の夕刻、熱海市より静岡県に対して災害派遣福祉チーム（DWAT）の派遣要請があったことを受け、本日、静岡県 DWAT 事務局（県社協）2名および DWAT 登録者2名が避難所となっている熱海市内のホテルに先遣隊として現地入りしました。

○災害ボランティア活動についてのお願い

～ 被災地からの発信があるまでは、被災地に向かわないでください

5日、熱海市災害ボランティアセンターが開設されました。

ただし、被災地域では現在も救助活動等が継続中であることから、ボランティア活動の開始時期については検討中であり、現時点ではボランティア活動を希望する方の事前登録にとどまり、実際の活動はめどが立ち次第の案内となります。また、静岡県東部地区に居住している方に限定してのボランティア募集となっています。[熱海市災害ボランティアセンター ホームページ](#)

被災地では、人命救助を最優先とした活動が続いています。

今後のボランティア活動については、被災地からボランティア募集等に関する発信があるまでは、ボランティア活動を目的として被災地に向かうことは控えてください。